

「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～

【検討グループ】

1. 大宮公園（R 3～）
2. 熊谷スポーツ文化公園（R 5～）
3. こども動物自然公園（R 5～）

令和5年度の活動実績(大宮公園検討グループ)

【背景・課題】

大宮公園は、1885（明治18）年の開設の130年を超える歴史ある公園。

近年は、悪化した舟遊池の水質改善や池周辺を含めた魅力の創出が課題。



平成30年にアオコが大量発生

【目的】

大宮公園の歴史的価値や美しい風景、豊かな自然環境などを次世代に継承するため、
①舟遊池の水質改善と水辺環境の再生・保全を図るとともに、②新たな賑わい創出に継続的に取り組む。

【活動実績】

- ・ 舟遊池の水辺再生、環境保全活動
- ・ 利活用促進（新たな賑わいづくり） ※3回のイベント開催で計15,000人の集客

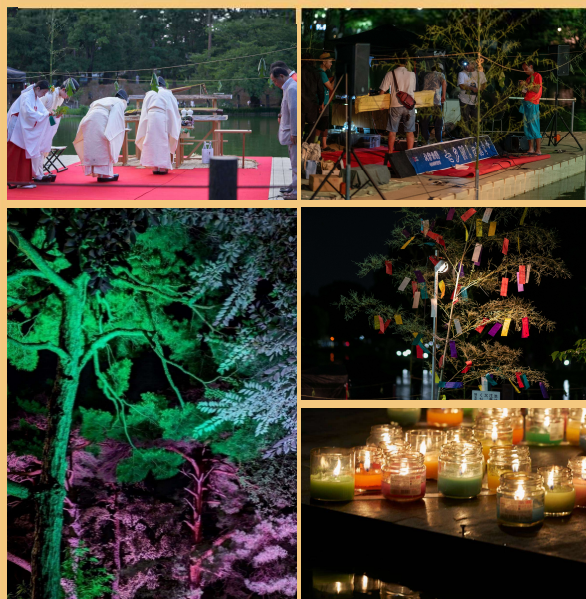
利活用促進(賑わい創出)の取組

大宮公園の持つ魅力やポテンシャル、公園の新たな利活用方法をイベントをとおして広く県内外にPR!

七夕Night(7月)

5,000人

- ボート池での氷川神社による祭事や水辺で乾杯
- 公園ライトアップ
- 池の周囲に笹竹短冊
- ボート池ステージ上でのキャンドルナイト



防災車中泊&キャンプフェス(10月)

7,000人

- 大宮第二公園調節池を活用した車中泊・キャンプ
- 大宮アルディージャパブリックビューイング
- 防災トークショーなど防災を学ぶステージイベント
- 「イツモ防災」PRブース



ボート池復活祭(12月)

3,000人

- 一日限りのボート復活&昔のボート写真展示
- 落ち葉拾い&焼き芋大会
- 人力車体験(花嫁・花婿さん、その他一般乗車)
- 地元幼稚園等とコラボしたステージイベント



令和6年度 大宮公園検討グループの取組

舟遊池の自然再生と新たな賑わいづくり（利活用促進）の両輪で実施

春

夏

秋

冬



ボランティア団体「大宮池守」による舟遊池の自然再生・保全活動



7/7 Sun

「水辺で乾杯」
「ボート復活プレ」



7/27 Sat

「ボート復活祭」



「夏休みSDGs探究イベント」

× 同時開催



11/9 Sat, 10 Sun

「防災車中泊 & キャンプFes.」



「かいぼり」？

熊谷スポーツ文化公園検討グループ

熊谷駅から北東へ約5 kmと最寄り駅から距離があるというロケーション。公園内には埼玉パナソニックワイルドナイツのホームグラウンドとなっている熊谷ラグビー場、ちふれASエルフェン埼玉（女子サッカー）のホームグラウンドでもあり第一種公認の陸上競技場、テニスコート16面や体育館などを含む熊谷ドームなどのスポーツ施設、またさくらオーバルフォートには宿泊棟、カフェなどが完備されている。



令和5年度の活動実績(熊谷スポーツ文化公園検討グループ)

- 課題**
- 東西に広く、中央を道路で分断されている。園内の豊富なリソースを活用し、公園全体としての魅力をどのように高めていくか。
 - 公園の名称にもなっている「文化」の側面が弱い。
 - 熊谷駅から北東へ約5 kmというロケーションの課題。
 - リーグワンなど大規模イベント時の渋滞の発生。

活動状況	令和5年	7月10日(月)	グループ立上げ 第1回打合せ(園内施設見学、意見交換)
		8月29日(火)	第2回打合せ(意見交換)
		12月8日(金)	第3回打合せ(意見交換)

- 主な意見**
- 【公園全体でのイベントの開催】 → ラグビー観戦後に公園へ宿泊するイベントの開催(パークウィング、車中泊、テント泊等) マルシェ、パブリックビューイング(スポーツ観戦) 公園全体でのスタンプラリー、焼き芋体験(園内落葉を利用) など
 - 【文化に関するイベントの定期開催】 → 音楽祭映画祭、学生による美術作品の展示、フォトコンテスト、ドライフラワーなどのワークショップ
 - 【施設の整備】 → 飲食店、シャワーなど長期滞在を促す施設整備、公園内で循環する仕組み作り (公園内に畑を作る⇒取れた野菜を園内のカフェ・レストランで調理⇒食品残差堆肥化⇒畑)

来年度の方向性 議論した内容を実現に向けて更にブラッシュアップしていく

こども動物自然公園検討グループ

埼玉県中央部にある比企丘陵に位置し、動物とのふれあいや自然観察を楽しむことができる公園として昭和55年5月5日にオープン。コアラやカンガルー、「世界一しあわせな動物」クオッカなどオーストラリアの動物がいる東園のほか、フンボルトペンギン生態園「ペンギンヒルズ」や国内初のガラス張り屋内キリン展示室「キリンテラス」、こどもの城などの施設がある。ハイシーズン(GW/SW)における駐車場等の混雑緩和に向けた公共交通機関利用促進や多種多様な主体との連携による魅力あるコンテンツづくりとPRなどに取り組む。



令和5年度の活動実績(こども動物自然公園検討グループ)

課題

- ・ GWや秋の行楽シーズンにおける駐車場の混雑や周辺道路の渋滞解消
- ・ より効果的な情報・魅力発信

目標

- ・ 鉄道事業者等と連携した公共交通機関利用促進
- ・ 新たなコンテンツ等による魅力アップと効果的なPRによる来園者拡大

R5実施

- ・ 意見交換会(2回)
- ・ 現地視察
- ・ 新規コンテンツ(VRなど)試作

R6予定

- ・ 意見交換会
 - ・ VR試作効果検証
 - ・ 秋の行楽シーズン公共交通機関利用促進キャンペーン
- ※その他、意見交換を通して出た案について、できることを実証実験として連携して行う。